

SHARP®

取扱説明書

コントローラーボード

形名

PN-ZB03C

インフォメーションディスプレイ
マネージメントソフト

e-Signage (イーサイネージ)

ビューア版プリインストール済

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

対応機種 (2016年9月現在)

インフォメーションディスプレイ
PN-R556/PN-R496/PN-R426

もくじ

安全にお使いいただくために……………	3	アフターサービスについて……………	12
使用上のご注意……………	4	お客様ご相談窓口のご案内……………	13
付属品を確認する……………	5	主な仕様……………	14
各部の名前……………	5	付録 1：コントローラーボードの 電源を制御する……………	15
セットアップを実行する……………	6	付録 2：BIOS の設定を変更する……………	18
コントローラーボードについて……………	7		
電源の入／切……………	10		

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
USB 端子

お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ お客様または第三者が、この製品の使い方を誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
- ※ 重要な内容は、必ず USB メモリーや外付けハードディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- ※ 当社では、ストレージの記録内容の保護および損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号の意味 (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける必要**があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



本機の取り付け・取り外しは、お買いあげの販売店か設置業者に依頼する。

お客様自身による作業は、感電やけがの原因となることがあります。



改造や分解をしない。お客様による修理はしない。

火災や感電、けがの原因となることがあります。



対応機種以外には使用しない。

火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

■ 取扱説明書の表記について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。

■ 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media Player、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテル、Celeron は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Acrobat、Flash および Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

付属品を確認する

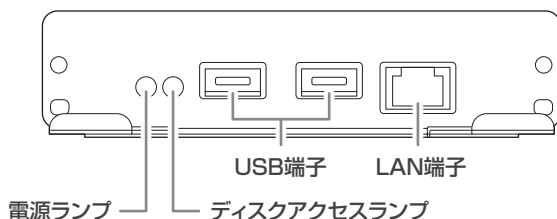
万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

- コントローラーボード (1 個) 端子シール (1 枚) 取扱説明書 (本書)
- 取付手順書 (ご販売店様・設置事業者様用) 保証書 (1 部)

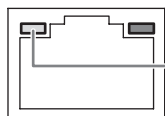
※ この製品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はありません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

各部の名前




■ LAN リンクランプ



通信速度LED

1000BASE-T : 橙、100BASE-TX / 10BASE-T : 緑

- 本機は Wake on LAN 機能に対応していません。
- ネットワークに未接続の場合、Windows のタスクバーの通知エリアに  が表示されます。
- 本機の電源を入れた状態で、IP アドレスを自動的に取得可能な異なるネットワークにつなぎ直した場合に、IP アドレスが再取得されない場合があります。その場合は以下の手順で IP アドレスを再取得するか、または本機の電源を入れ直してください。
 1. [スタート] ボタンを右クリックし、「コマンド プロンプト (管理者)」をクリックする。
 2. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックする。
 3. 「ipconfig /release」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押す。
 4. 「ipconfig /renew」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押す。
 5. コマンドプロンプト画面を閉じる。

セットアップを実行する

■ セットアップ

本機をディスプレイに接続することで、コントローラーとして使用することができます。本機を初めて使用するときは、セットアップを行う必要があります。

ご参考

- Windows の設定を行います。コントローラーボードに USB キーボード（市販品）と USB マウス（市販品）を接続してください。

1. コントローラーボードの電源を入れる。

コントローラーボードの電源の入れかたについては、10 ページをご覧ください。Windows のセットアップ画面が表示されます。

2. 画面の指示に従ってセットアップを実行する。

Windows のセットアップ後、サイネージ / 電子黒板設定ツールを実行し、用途に合わせた設定を行ってください。

3. デスクトップの [サイネージ / 電子黒板設定ツール] をダブルクリックまたはクリックする。

- 用途に応じたボタンをクリックします。

サイネージ用途：サイネージ用途に適した設定に切り換えます。

電子黒板用途：電子黒板用途に適した設定に切り換えます。

標準設定：Windows の標準設定に切り換えます。

- ※ ディスプレイのサイズや解像度に応じて、テキストやその他項目のサイズが自動スケールされるようにしたい場合は、「共通設定」の「画面上のテキストやその他項目のサイズを 100%にする」のチェックを外します。
- ※ 「共通設定」の「[SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー] を自動起動する」がチェックされていると、搭載ソフトに更新があった際に、タスクトレイに通知が表示されます。更新通知を表示したくない場合は、チェックを外してください。

- 各設定を個別で変更したい場合は、その項目のチェックボックスをクリックします。
- 画面の指示に従って操作してください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
- 設定後、再起動の確認画面が表示された場合は、[OK] をクリックし、コントローラーボードを再起動させてください。

■ Windows のライセンス認証について

本機をインターネットに接続すると、自動的に Windows のライセンス認証が行われます。

- 本機をインターネットに接続しない場合は、Windows のライセンス認証を行う必要はありません。
- Windows のライセンス認証の状態については以下の手順で確認します。
 - ① 「スタート」メニューの [設定] をクリックする。
 - ② [更新とセキュリティ] をクリックする。
 - ③ [ライセンス認証] をクリックする。

■ 画面解像度の変更について

Windows の「ディスプレイの詳細設定」で解像度を変更すると、正しく表示できないことがあります。画面解像度は、以下の手順に従って、「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で変更してください。

- ① デスクトップを右クリックする。
- ② 「グラフィックス・プロパティ」をクリックする。
- ③ 「ディスプレイ」をクリックする。
- ④ 「解像度」から変更したい設定を選択する。
- ⑤ 「適用」をクリックする。
- ⑥ 確認画面が表示された場合は「はい」をクリックする。
- ⑦ 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる。

コントローラーボードについて

- 本機には、Windows 10 IoT Enterprise 2015 LTSB 64ビットがプリインストールされています。
- 初めて使用するときは、Windows の起動に時間がかかります。
- お客様がインストールしたアプリケーションソフトやデバイスドライバーの動作については保証の対象になりません。
- 本機を利用する場合は、インフォメーションディスプレイの入力モードを「OPTION」に切り換えます。

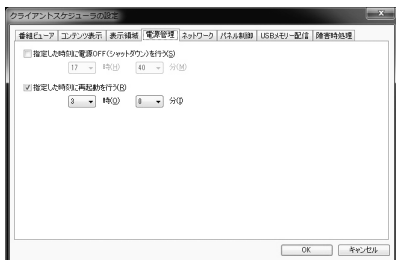
■ インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト『e-Signage』 (イーサイネージ)

- 本機には、e-Signage (ビューア版) がインストールされています。
 - e-Signage (ビューア版) は、e-Signage (ライト版/スタンドアロン版/ネットワーク版) や e-Signage Pro (EX / WEB サーバー版) で作成したコンテンツを表示するためのソフトウェアです。ビューア版単独では使用できません。
 - e-Signage (ビューア版) の使いかたについては、e-Signage の説明書をご覧ください。電子マニュアルを C: ¥SHARP ¥Utility ¥e-Signage に収録しています。ご覧いただくためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。
 - e-Signage ライト版は、インフォメーションディスプレイのホームページよりダウンロードすることができます。(無償)
<http://www.sharp.co.jp/business/lcd-display/lineup/e-signagelite/>
ライト版以外は有償となります。
- ## ■ コンテンツの作成・再生について
- 本機には MPEG-2 表示用コーデックが搭載されていないので、e-Signage で MPEG-2 コンテンツを表示できません。
 - 動画の再生に有償のコーデックが別途必要になる場合があります。詳細はお買いあげの販売店にお問い合わせください。
 - 本機には PowerPoint Viewer 2010 (SP2) がインストールされています。PowerPoint Viewer 2010 は 32 ビット版です。64 ビット版の Microsoft Office をインストールする場合は、PowerPoint Viewer 2010 をアンインストールする必要があります。
 - 本機は .mov および .mp4 形式の QuickTime コンテンツを Windows Media Player で再生します。
 - Adobe Flash コンテンツの再生は Windows に付属の Flash Player で行うことができます。Flash Player を最新の状態にするには、Windows Update を行う必要があります。
 - 縦長設置のディスプレイに、縦長コンテンツを表示する場合は、回転表示する必要があります。デスクトップ画面を右クリックし、[ディスプレイ設定] をクリック、「向き」コンボボックスを「縦」または「縦 (反対向き)」に変えてください。
 - 事前に試し再生を行うことをお勧めします。コンテンツによっては、正しく再生できない場合があります。

■ 24 時間以上連続で使用する場合

本機を 24 時間以上連続して使用する場合は、1 日に 1 度、本機を再起動する必要があります。

1. コントローラーボードを起動し、「スタート」メニューの [すべてのアプリ] をクリックする。
2. 「SHARP e-Signage」の [e-Signage Client Scheduler] をクリックする。「e-Signage FTP Server」の「Windows セキュリティの重要な警告」が表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックしてください。
3. タスクトレイにある e-Signage Client Scheduler のアイコン (🔊) を右クリックし、[設定] をクリックする。
4. [電源管理] タブをクリックし、「指定した時刻に再起動を行う」にチェックを入れ、再起動したい時刻を設定する。



5. デスクトップ画面の [サイネージ / 電子黒板設定ツール] をダブルクリックする。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
6. 「サイネージ用途」の [「e-Signage Client Scheduler」を自動起動する] をチェックし、[OK] をクリックする。設定後、再起動の確認画面が表示された場合は、[OK] をクリックし、コントローラーボードを再起動させてください。

ご参考

- 再起動する時刻は、お客様等の目に触れる可能性の低い時間帯を選ぶことをお勧めします。

■ ストレージ (SSD) の書き込み保護機能について

- 本機の Windows には、ストレージの書き込みを制限する「統合書き込みフィルター (UWF)」機能が搭載されています。
- サイネージ用途に使用する場合は、下記の手順でストレージが保護された状態にしてください。

1. コントローラーボードを起動し、デスクトップ画面を表示する。
2. 画面左下の「Windows を検索」ボックスに「UWF_Settings」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押す。
3. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックする。
4. [2] を入力して [Enter] キーを押す。本機が再起動し、書き込み保護が有効になります。

- ストレージが保護された状態になっていると、本機の電源を切ったり再起動することで、以下のような操作を行う前の状態を復元することができます。

- Windows や搭載ソフトの設定変更や更新
- ソフトウェアのインストール/アンインストール
- ファイルの変更

- 保護を解除したい場合は、手順 4 で [4] を入力し [Enter] キーを押します。

■ 電源オプションの設定について

インフォメーションディスプレイと連動した電源操作のため、Windows のグループポリシーを使用して、以下の設定を無効にしています。

- 電源ボタンを押したときの動作
- 高速スタートアップ
- スリープ
- 休止状態

■ Windows Update について

- セットアップ時（6 ページ）に、「サイネージ／電子黒板設定ツール」で「サイネージ用途」の「Windows Update の自動更新を無効にする」をチェックした場合、安定したコンテンツ再生のため、Windows の自動更新が無効になります。
 - Windows の重要な更新プログラムは下記の手順でインストールしてください。
1. コントローラーボードをインターネットに接続する。
 2. 「スタート」メニューの [設定] をクリックする。
 3. [更新とセキュリティ] をクリックする。
 4. [Windows Update] をクリックする。
 5. [更新プログラムのチェック] をクリックする。
 6. 以降は、画面の指示に従って操作する。

■ デフラグ（ドライブの最適化）の自動実行について

- セットアップ時（6 ページ）に、「サイネージ／電子黒板設定ツール」で「サイネージ用途」の「タスクスケジューラの「Defrag」を無効にする」をチェックした場合、安定したコンテンツ再生のため、デフラグの自動実行が停止されます。
 - デフラグの自動実行が停止された状態で、ファイルの書き込みや削除を繰り返したり、ストレージ (SSD) の空き容量が少なくなった場合に、アクセス速度が低下する場合があります。その場合は下記の手順でデフラグを行うことで、速度が改善される場合があります。
1. コントローラーボードを起動し、デスクトップ画面を表示する。
 2. 「スタート」メニューの [エクスプローラー] をクリックする。
 3. [Windows (C:)] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする。
 4. [ツール] タブをクリックする。
 5. [最適化] をクリックする。
「ドライブの最適化」画面が表示されます。
 6. デフラグを実行したいドライブをクリックして選択し、[最適化] をクリックする。「最後の実行」欄に「実行中」と表示され、デフラグが実行されます。

7. デフラグが完了すると、「最後の実行」欄にデフラグを実行した日時が表示される。

8. [閉じる] をクリックする。

■ ウイルス対策について

- サイネージ用途に使用する場合、ネットワーク接続でのウイルス感染については、Windows ファイアウォールで、e-Signage が使用するポート (FTP) のみ通信を許可することで強度を高めることができます。インターネットを使うのであれば VPN (Virtual Private Network) などの対策をとることをお勧めします。
Windows に付属の Windows Defender を使用することで、スパイウェアやウイルスからコントローラーボードを保護することができます。Windows Defender を使用する場合は、コントローラーボードをインターネットに接続してウイルスおよびスパイウェアの定義を更新し、Windows Defender を最新の状態にしてください。
サードパーティ製のウイルス対策ソフトはプリインストールされていません。サードパーティ製のウイルス対策ソフトを使用する場合は、動作確認の上、お客様の責任でご利用ください。

■ 内蔵電池

- 本機の時計は内蔵電池により保持されません。内蔵電池の交換は、お買いあげの販売店または修理相談窓口にご相談ください。
- 内蔵電池の寿命の目安：約 5 年（本機の状態により異なります。）
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに消耗することがあります。

電源の入／切

■ 電源の入れかた

- ・ インフォメーションディスプレイの入力モードを「OPTION」に切り換えると本機の電源が入ります。
- ・ インフォメーションディスプレイの電源「入」操作と連動させることができます。インフォメーションディスプレイの入力モードが「OPTION」の状態では電源を入れたら、本機の電源も入ります。以下の場合が「OPTION」の状態となります。
 - 「起動時入力モード」が「ラスト入力モード」に設定されていて、「OPTION」の状態ではディスプレイの電源が切られた場合。
 - 「起動時入力モード」が「OPTION」に設定されている場合。
- ・ インフォメーションディスプレイのスケジュール機能と連動して本機の電源を入れる場合は、「OPTION」の状態ではインフォメーションディスプレイの電源が入るようにします。

！ご注意

- ・ 本機の電源が入っているときは、インフォメーションディスプレイの主電源を切らないでください。
- ・ インフォメーションディスプレイの主電源を切る前に、Windows のシャットダウン処理を行って、必ず本機の電源を切ってください。

■ 電源の切りかた

インフォメーションディスプレイの電源「切」操作と連動させる

インフォメーションディスプレイのその他メニューの「オプション電源制御」の「連動オフ設定」を「する」に設定すると、インフォメーションディスプレイの電源「切」に合わせて本機の電源が切れるようになります。

- ・ インフォメーションディスプレイが電源待機状態に移行すると、本機の電源が切れます。
- ・ 本機の電源が意図した状態にならなかった場合は、インフォメーションディスプレイのメニュー操作が可能な状態になるまでお待ちいただき、本機の画面が表示されている状態で再度操作を行ってください。
- ・ 入力モードを「OPTION」以外に切り換えても本機の電源は切れません。
- ・ 本機の電源が入っていると、インフォメーションディスプレイは入力信号待機状態に移行しません。
- ・ 本機の電源が入っていると、インフォメーションディスプレイの以下の設定や機能を利用できません。
 - 本体設定メニューの「端子設定」の「DisplayPort ストリーム」
 - 特別機能メニューの「オールリセット」の「オールリセット 1」、「オールリセット 2」
- ・ 本機の電源が入っていると、以下の制御コマンドに対して「ERR」が返信されます。POWER、DPST、RSET

インフォメーションディスプレイの電源「切」操作と連動させない

インフォメーションディスプレイのその他メニューの「オプション電源制御」の「連動オフ設定」を「しない」に設定すると、インフォメーションディスプレイの電源を切っても本機の電源は切れません。

- ・ インフォメーションディスプレイが電源待機状態に移行した場合でも、本機の電源が入ったままになり、電源待機状態での消費電力が増えます。
- ・ モニターメニューの「パワーセーブモード」を「する」に設定することはできません。
- ・ インフォメーションディスプレイを電源待機状態にしたまま、指定時刻に本機の電源を入れたい場合や、管理用 PC からネットワーク経由で本機の電源を入れたい場合も、本設定にしてください。

- 本機からインフォメーションディスプレイの電源を入/切したり、制御したい場合は、インフォメーションディスプレイの本体設定メニューの「通信設定」の「制御経路」を「OPTION」に設定します。制御については、インフォメーションディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

設定を制御コマンドで変更することもできます。

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	
制御経路	CTCH	WR	0~1	0~1	0:ディスプレイ、1:OPTION	○

○:「パワーセーブモード」が「する」のとき、電源待機状態では使えません。

※制御経路が「OPTION」の場合、「パワーセーブモード」を「する」に設定できません。

- 制御経路の設定が「OPTION」で、連動オフ設定が「する」の場合、ディスプレイが電源待機、信号待機状態では、オプション経由で制御することはできません。電源待機、信号待機状態でもオプション経由でディスプレイの制御が必要な場合は、連動オフ設定を「しない」に設定してください。

■ インフォメーションディスプレイの設定や操作について

- インフォメーションディスプレイのその他メニューの「オプション電源制御」で「電源操作」、「強制電源オフ」、「リセット」を実行することで、本機の電源を入/切したり、リセット操作を行うことができます。
- 制御コマンドで設定や操作を行うこともできます。

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	
連動オフ設定	CCOP	WR	0~1	0~1	0:しない、1:する	—
コントローラー電源操作	CPOW	W		0000	電源「切」	○
				0001	電源「入」	
				5555	強制電源「切」	
				9999	リセット	

○:「パワーセーブモード」が「する」のとき、電源待機状態では使えません。

—:「パワーセーブモード」の設定にかかわらず、電源待機状態では使えません。

- 本機を取り付けている場合、以下のメニューに「OPTION」は表示されません。
 - 本体設定メニューの「HDMI オートワイド」
 - その他メニューの「自動入力切替優先順位」
- 本機を取り付けている場合は、特別機能メニューの以下の設定は利用できません。POWER ボタン、外部コントローラー入力端子
また、制御コマンドで「PBTN」や「PCIP」を使用した場合は、「ERR」が返信されます。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はお買いあげの日から1年間です。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 有寿命部品について

この製品の通常の使用において、製品の使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。

この製品には、下記の有寿命部品が含まれています。ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要となる場合があります。

有寿命部品

ストレージ (SSD) ・ 内蔵電池

※ ユニット単位の交換になります。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

本書をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ご自分で修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・ 品名：コントローラーボード
- ・ 形名：PN-ZB03C
- ・ 取り付けているインフォメーションディスプレイの形名
- ・ お買いあげ日（年月日）
- ・ 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・ お名前
- ・ 電話番号
- ・ ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（13ページ）にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。



<シャープサポートページ>
<http://www.sharp.co.jp/business/lcd-display/support/>



使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープ株式会社

ビジネスソリューション事業本部
ビジュアルソリューション事業部
国内営業部サポートセンター

0120-571002

フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は、
電話: 03-5446-8153

受付時間 月曜～金曜: 9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】(沖縄地区を除く)

シャープビジネスソリューション株式会社



0570-00-5008 (全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。)
(携帯電話からもご利用いただけます。)

■ PHS・IP電話をご利用の方は…
06-6794-9676

■ 沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
(月曜～金曜: 9:00～17:00)
(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

受付時間 月曜～土曜: 9:00～17:40 (日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道 東北	札幌技術センター	(011)641-0751	063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
	仙台技術センター	(022)288-9161	984-0002	仙台市若林区鉾町東3-1-27
	福島技術センター	(024)959-1421	963-0547	郡山市喜久田町卸3-27-2
	北東北技術センター	(019)638-6085	020-0891	岩手県紫波郡矢町流通センター南3-1-1
関東 越前	新潟技術センター	(025)284-6023	950-0965	新潟市中央区新光町9番2
	宇都宮技術センター	(028)634-0256	320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	前橋技術センター	(027)252-7311	371-0855	前橋市閤屋町1-3-7
首都圏	水戸技術センター	(029)243-0909	310-0851	水戸市千波町1963
	東京フィールドサポート部 ビジネスシステム技術担当	(03)6404-4123	143-0006	東京都大田区平和島4-1-23
	中部	名古屋第1技術センター	(052)332-2758	454-0011
三重技術センター		(059)231-1573	514-0131	津市あつた4-6-4
静岡技術センター		(054)344-5621	424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
長野技術センター		(026)293-6360	388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
近畿	金沢技術センター	(076)249-9033	921-8801	石川県野々市市御経塚4-1-103
	大阪フィールドサポート部	(06)6794-9671	547-8510	大阪市平野区加美南3-8-25
	京都技術センター	(075)681-9551	601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	神戸技術センター	(078)795-6336	654-0161	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
中四国	広島技術センター	(082)874-6100	731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
	岡山技術センター	(086)292-5830	701-0301	都窪郡早島町大字矢野828
	高松技術センター	(087)823-4980	760-0065	高松市朝日町6-2-8
	高知技術センター	(088)883-7039	781-8104	高知市高須1-14-43
九州	松山技術センター	(089)973-0121	791-8036	松山市高岡町178-1
	福岡技術センター	(092)572-2617	812-0881	福岡市博多区井相田2-12-1
	熊本技術センター	(096)237-5353	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間227-78
	鹿児島技術センター	(099)259-0628	890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1

●沖縄地区については、沖縄シャープ電機株式会社にお問い合わせください。

沖縄シャープ電機株式会社

<受付時間>月曜～金曜: 9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

沖縄 沖縄シャープ電機(株) (098)861-0866 900-0002 那覇市曙2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2016.9)

主な仕様

■ 製品仕様

形名	PN-ZB03C
OS	Windows 10 IoT Enterprise 2015 LTSC (64 bit)
CPU	インテル Celeron N3160 プロセッサ 1.6GHz
メインメモリー	4GB
ストレージ	SSD 64GB※
入出力端子	USBポート (USB 3.0準拠) X 2 LANポート (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) X 1
最大解像度	3840×2160 (30Hz)
電源	インフォメーションディスプレイから供給
入力電圧	12~19 V
消費電力	24 W
外形寸法(突起部を除く)	幅 約124.6mm × 奥行 約136.5mm × 高さ 約30.0mm
質量	約 271 g(取付金具・ケーブル類含まず)

・ インフォメーションディスプレイの使用温度条件、使用湿度条件内でご使用ください。

※ 1GB を 10 億バイトで計算した場合の数値です。

付録 1：コントローラーボードの電源を制御する

本機の電源制御には、以下の方法があります。

- A：コントローラーボード自身で電源を制御する（右記）
- B：インフォメーションディスプレイの電源を制御し、Windows の起動／終了画面を見せないようにする（16 ページ）

！ご注意

- 電源を制御する場合は、「サイネージ / 電子黒板設定ツール」を使用して「サイネージ用途」に設定してください。「サイネージ / 電子黒板設定ツール」の起動方法や設定方法については 6 ページをご覧ください。

■ A：コントローラーボード自身で電源を制御する

コントローラーボード側で電源を入／切する時刻を設定することができます。インフォメーションディスプレイの電源入／切は、コントローラーボード側から制御して行います。

1. インフォメーションディスプレイのメニューの設定を変更する。

- (1) その他メニューの「オプション電源制御」の「連動オフ設定」を「しない」に設定する。
- (2) 本体設定メニューの「通信設定」の「制御経路」を「OPTION」に設定する。

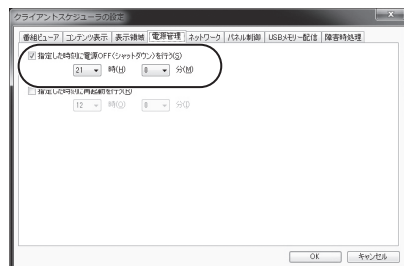
メニューの設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

2. コントローラーボードの BIOS 設定画面を表示し、[Advanced] - [S5 RTC Wake Setting] - [Wake system from S5] を「Fixed Time」にして起動する時刻を設定する。

BIOS の設定については、「付録 2：BIOS の設定を変更する」（18 ページ）をご覧ください。

3. コントローラーボードを起動し、タスクトレイにある e-Signage クライアントスケジューラーのアイコン (📅) を右クリックし、「設定」をクリックする。

4. 「電源管理」タブをクリックし、「指定した時刻に電源 OFF (シャットダウン) を行う」にチェックを入れ、シャットダウンしたい時刻を設定する。



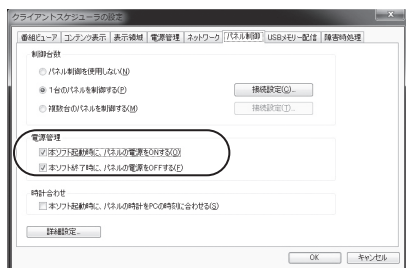
5. 「パネル制御」タブをクリックし、「制御台数」を設定する。

- (1) 「1 台のパネルを制御する」を選択する。
- (2) [接続設定] をクリックする。
- (3) 以下の設定を行い、[OK] をクリックする。

接続インターフェース：RS-232C
COM ポート：COM1
通信速度：38400 *

※ ディスプレイによって設定が異なる場合があります。詳しくは、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

6. 「本ソフト起動時に、パネルの電源を ON する」、「本ソフト終了時に、パネルの電源を OFF する」にチェックを入れる。



7. 「OK」をクリックする。

■ B：インフォメーションディスプレイの電源を制御し、Windows の起動／終了画面を見せないようにする

e-Signage の起動／終了にあわせてインフォメーションディスプレイの電源を入／切することで、Windows の起動画面や終了画面画面を見せないように設定できます。

1. インフォメーションディスプレイのメニューの設定を変更する。

- (1) その他メニューの「オプション電源制御」の「連動オフ設定」を「しない」に設定する。
- (2) 本体設定メニューの「通信設定」の「制御経路」を「OPTION」に設定する。

メニューの設定方法については、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

2. コントローラーボードを起動し、タスクトレイにある e-Signage クライアントスケジューラーのアイコン () を右クリックし、[設定] をクリックする。

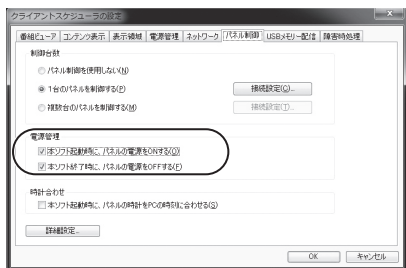
3. 「パネル制御」タブをクリックし、「制御台数」を設定する。

- (1) 「1 台のパネルを制御する」を選択する。
- (2) [接続設定] をクリックする。
- (3) 以下の設定を行い、[OK] をクリックする。

接続インターフェース：RS-232C
COM ポート：COM1
通信速度：38400 *

※ ディスプレイによって設定が異なる場合があります。詳しくは、インフォメーションディスプレイの説明書をご覧ください。

4. 「本ソフト起動時に、パネルの電源を ON する」、「本ソフト終了時に、パネルの電源を OFF する」にチェックを入れる。



5. [OK] をクリックする。

付録 2 : BIOS の設定を変更する

BIOS を設定する場合は、あらかじめコントローラーボードに USB キーボード (市販品) を接続してから、コントローラーボードの電源を入れてください。

! ご注意

- ここで説明している以外の BIOS の設定は、変更しないでください。

1. 電源「入」後すぐに、キーボードの [Delete] キーを押す。
BIOS の設定画面が表示されます。
2. 右記の「BIOS の設定」の項目を設定する。
3. BIOS の設定を終了したいときは、[Save & Exit]-[Save Changes and Reset] を選んで、表示される画面で [Yes] を選ぶ。
BIOS の設定画面が終了し、コントローラーボードが起動します。

■ BIOS の設定

Wake system from S5

[Advance] - [S5 RTC Wake Settings] - [Wake system from S5] の順で選びます。コントローラーボードを定時に起動する場合は、「Fixed Time」に設定します。「Disabled」にすると、工場出荷時の設定に戻すことができます。

この設定を「Fixed Time」にすると、次の項目が表示されます。

	設定値
・ Wake up hour	0-23
・ Wake up minute	0-59
・ Wake up second	0-59

「Wake up hour」「Wake up minute」「Wake up second」は、起動する「時」「分」「秒」を設定します。

例：毎日朝 8 : 00 に起動する場合の設定

[Wake system with Fixed Time]	: Fixed Time
[Wake up hour]	: 8
[Wake up minute]	: 0
[Wake up second]	: 0

**e-Signageスタンドアロン版(PN-SS01)、e-Signageネットワーク版(PN-SS02)、
e-Signage Pro EX(PN-SS05)、e-Signage Pro WEBサーバー版(PN-SW05)を購入
された方へ**

本コントローラードには、『e-Signage』のビューア版がプリインストールされています。

製品名称：	インフォメーションディスプレイマネージメントソフト e-Signage ビューア版
使用許諾ライセンス数：	1ライセンス(本コントローラードでのみ使用できます)
シリアル番号：	SV01 - 880_____

e-Signage スタンドアロン版、e-Signageネットワーク版、e-Signage Pro EX、e-Signage Pro WEBサーバー版をインストールする際に必要となるライセンスコードを取得する場合には、各ソフトウェアパッケージに同梱されている「ライセンス発行依頼書」のビューア版[PN-SV01]シリアル番号の欄に、上記シリアル番号を転記してください。

万一来に備え、本体のラベルに記載の製造番号をメモしておいてください。

修理の際、必要となる場合があります。

製造番号： _____



「よくあるご質問」などは
ホームページをご活用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/business/lcd-display/support/>



使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープ株式会社

ビジネスソリューション事業本部
ビジュアルソリューション事業部
国内営業部サポートセンター

0120-571002

フリーダイヤルサービスを
ご利用いただけない場合は、
電話：03-5446-8153

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】(沖縄地区を除く)

シャープビジネスソリューション株式会社



0570-00-5008 (全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。)
(※携帯電話からもご利用いただけます。)

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40(日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

■PHS・IP電話をご利用の方は…
06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
(月曜～金曜：9:00～17:00)

(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

●電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2016.9)

シャープ株式会社

本 社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in China
JA(1)